

Wi-Fiって なあに？



Wi-Fi(ワイファイ)とは無線でインターネットに接続する技術のことです。家の中でも使われますし、お店やコンビニ、空港など公共の場で利用できる公衆 Wi-Fi が増えています。

最近では、テレビやメディアでも Wi-Fi の危険性について特集されています。セキュリティは正しい知識を得ることが大切です。正しく理解し、Wi-Fi を安全に利用しましょう。

Wi-Fi(ワイファイ)は危険？

**TOKYO
OLYMPICS**



2020

2020 年の東京オリンピック開催を控え、ますます公衆 Wi-Fi の需要が高まっています。

これをきっかけに無料の Wi-Fi スポットが増えていくと思いますが、普段は安全性についてあまり考えずに使っているのではないのでしょうか。

Wi-Fi は手軽に利用できる便利なものですが、一方で「メールののぞき見」や「なりすまし」などの危険性についても指摘されています。利用前に正しい理解と知識を身につけることが大切です。

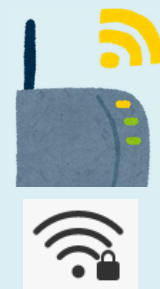
公衆 Wi-Fi と野良 Wi-Fi



公衆 Wi-Fi の多くは、空港、自治体、ホテルなどサービス提供者がはっきりとしています。接続するためには、ID・パスワードの入力が必要となり、一定レベルのセキュリティ確保はされています。

しかし、これ以外にサービス提供者が不明の無料 Wi-Fi があります。これは「野良 Wi-Fi」などと呼ばれる危険性が高いものです。これ

に接続してしまうと、「通信内容がすべて盗聴」される、「ウイルスに感染させられる」という危険性があります。見分けるポイントは利用可能なネットワークを探すときに、電波のアイコンに「鍵マーク」があるかないかです。鍵マークのない Wi-Fi の安易な利用は**絶対に避けましょう**。もし、あれ？と思ったら**すぐにキャンセル**して、接続しないようにしましょう。



公衆 Wi-Fi は安全でしょうか？



実は、残念ながら 100%安全とは言えません。サービス提供者がはっきりしている公衆 Wi-Fi であっても、電波が届く範囲にいれば、回線が暗号化されていても、比較的簡単に盗聴することは可能だと言われています。このため、「ネットバンキング」や「個人情報の送信」

はしない方がいいでしょう。ファストフード店などにあるフリー Wi-Fi スポットでも、巧妙な「にせ Wi-Fi」の危険性がないとは言えないので、Web ページの閲覧程度に留めておくのが無難です。

また、スマートフォンには過去に接続した Wi-Fi アクセスポイントを覚えて、自動で接続する機能があり、野良 Wi-Fi でも接続してしまいます。少し面倒ですが、接続後はその都度設定を削除しましょう。



Wi-Fi(ワイファイ)を安全に使うために

- ・公衆 Wi-Fi は便利だが、100%安全ではないという意識を持って利用する。
- ・安全度が高いと思われるサービスを選ぶ（鍵マーク付きのサービスを）
- ・自動接続の対策（接続設定の削除）
- ・接続先は毎回確認する

一般的なセキュリティ対策

- ・OS を最新の状態に保つ（アップデートする）
- ・セキュリティ対策ソフトを導入する
- ・にせサイト、フィッシング詐欺に注意する(実はかなり多い)
- ・ゲームや SNS などの ID やパスワードを他人に教えない